

今、皆さんの目は世界に向いていますか？「国際人を育てる」という国の目標は変わっていません。観光客もだんだん戻ってきています。以前と同じように戻るには少し時間がかかるかもしれませんが、「その時」に乗り遅れないようアンテナを高く、意識もっていることが必要ではないでしょうか？

当園では幼児期の言語活動の一環として長年英語教育を行ってきましたが、従来の「英語に親しむ」SSコースと2014年から導入した「子ども達の英語コミュニケーション能力を確実に養うこと」を目標にした幼小8年間学習できる英語教育プログラム GrapeSEED(グレープシード)＝GSコースを設置しております。

(1) 学年別レッスン内容

①年少クラス …… 全員、クラス毎に週1回各20分レッスン(年中からのSS・GSの基礎、年間28回程度)

②年中・年長クラス…

SSコース…*週1回程度、各30分レッスン(年間30回程度)

*ネイティブ(外国人)とバイリンガル(日本人)の2人講師による
チームティーチング方式です。

GSコース…*週4、5回程度、各40分*内週2日程度、追加学習で20分間のレッスンあり

(年間150回程度)

*ネイティブとバイリンガル講師のリレーティーチング方式です。

SSとGSの選択

参観頂いたレッスンをご参考し、次年度の英語コースを選択します。基本的に在園中のコース変更はできません。

(注)SS・・・Slow but Steady(ゆっくりとしかししっかりと、の意)
GS・・・GrapeSEED(新英語教育システムの略称)

(2) 経費 (令和4年度)

①年少クラス…………… 1,000円/月額

②年中・年長のSSコース…………… 1,500円/月額

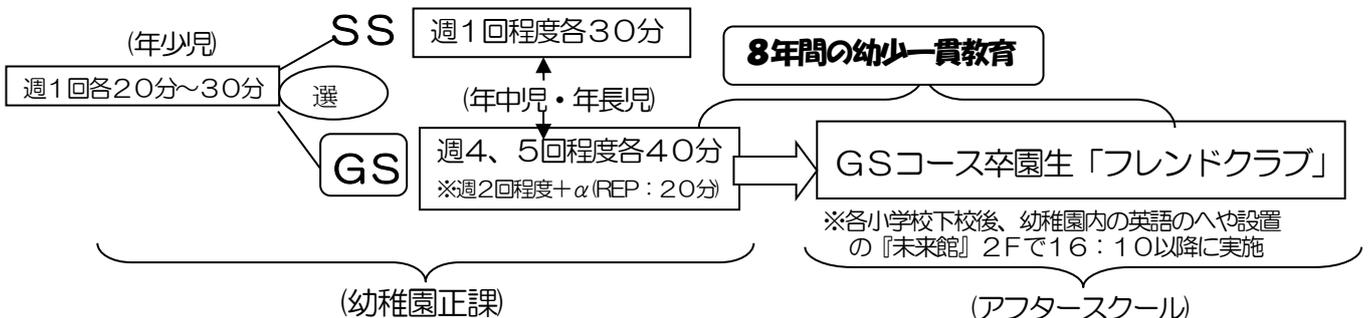
③年中・年長のGSコース…………… 12,500円/月額 ※1

※1:講師料、「英語のへや」の設備・備品費、システムライセンス料(教材を含む)はグレープシティに支払います。

(3) GSコースは8年間の幼小一貫教育です

GSコースは、幼稚園(レッスン)とご家庭(REP)で共に取り組むプログラムです。幼稚園年中から小学6年生までの8年間の幼小一貫教育によるバイリンガルジュニア(中学生)の育成が目標です。(2022年度のGSコース…年中:40人/年長:47人) 幼少期には覚えるのも早いが忘れるのも早いため、覚えたものを8年間かけて定着させていくことを考慮しています。

英語で考え、英語で話す為にレッスン中は日本語禁止で全て英語で行います。



◎GSアフタースクール「フレンドクラブ」について

*週3回程度、各50分レッスンを行います。(年間130レッスン)

2022年現在…小1(2クラス)、小2(2クラス)、小3(2クラス)、

*月謝は17,000円(税別)です。小4(2クラス)、小5(1クラス)、小6(1クラス) / 総数119名

※在園中の英語教育は保育の一環です。アフタースクールと料金が異なる事をご理解下さい。又、税金がかかります。

*園バスのルート上で乗ることが可能であれば、行きのみですが園バスを利用することができます。

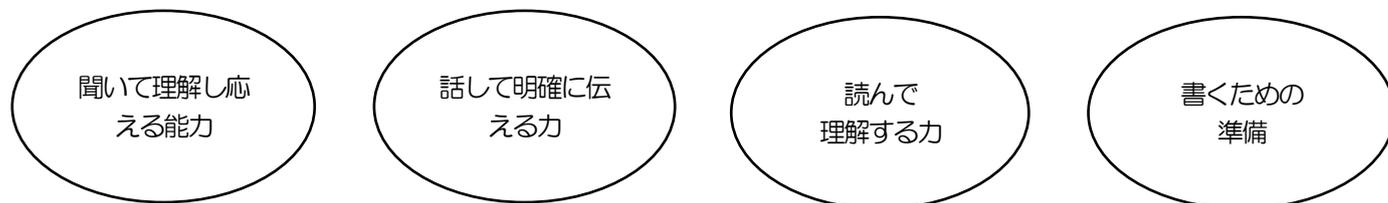
*令和3年度より中学生コースを開設(週1・50分)6年生時にアンケートを取り開設を決めます。

*小学生ならではのイベント等も行います。

GrapeSEED とは・・・

日本語同様に、英語も母国語のように話せる子供を育てるべく作られたカリキュラム、それが GrapeSEED です。
4 歳から 12 歳まで、子供たちは年齢にあった表現を英語で体験し、理解し、使うというプロセスを繰り返すことで英語を聞き分ける耳が育ちます。

「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」という、従来日本で行われてきた英語教育とは逆の順番でスキルを徐々に発達させ、話せる英語を身につけていきます。



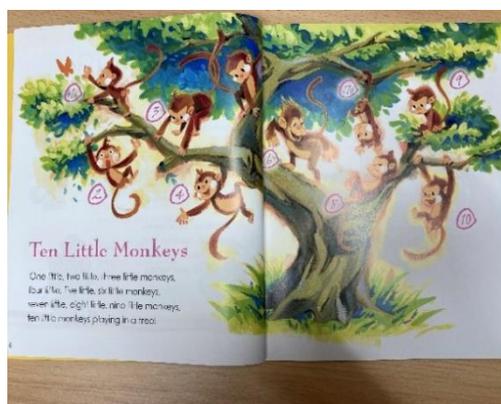
GrapeSEED は自然と繰り返すように設計されたカリキュラムです。様々な場面で同じような表現や言葉に何度も出会うことで、イラストや前後の文脈から意味や使い方を理解し、自然な形で自分で使えるようになっていきます。

レッスンは all in English、日本語を使わない環境で行います。子供たちは英語名を与えられており、レッスン初日から英語のみのレッスンに、初めは戸惑いを見せる生徒もいますがすぐに馴染んで英語のみでコミュニケーションをとろうとするようになります。

レッスンを 3～5 回程度行ってから、REPbook といういわゆるテキストを配ります。REP とは「**Repeated Exposure and Practice**」の略で、反復体験や反復練習を意味します。REP を行う際にはアプリと本を使用します。本が配られてからご家庭で「REP」を行うことによって、レッスンで先生と一緒に楽しく行ったレッスンをお家で再体験するうちに、子供たちに「知ってる!」「分かる!」という喜びが芽生え、楽しく繰り返すようになります。そうしていくうちに子供たちの中に表現や言葉が定着し、力が付いていきます。

文科省の英語に関する狙いも、「勉強する英語」から「話せる英語」に変わりつつあります。日本語同様に英語も母国語のように話せる子供を育てるべく作られたカリキュラム、GrapeSEED。ぜひお子さんと一緒に体験してみてください。

• テキスト



• アプリ

